

**STANDARD**

デジタル簡易無線トランシーバー

**VXD-10**

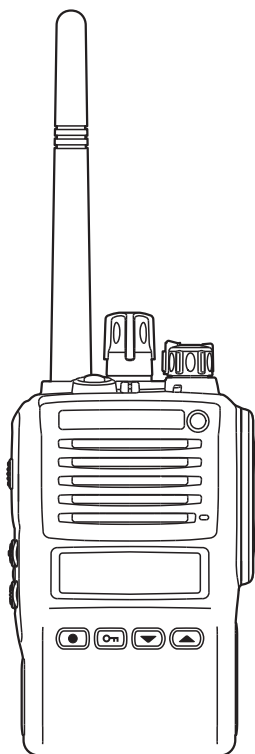
*Digital*

【資格不要】

デジタル  
**30**  
チャンネル

Digital Convenience Radio

**3R** 登録局



## 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございました。  
正しくお使いいただくために、この取扱説明書を  
よくお読みください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

この無線電話装置は国内専用モデルです。  
海外では使用できません。

# 目次

はじめに	1
構成	2
防水性について	2
電波干渉について	2
安全上のご注意	3
正しくご使用いただくために	6
各部の名前と機能	7
本体	7
ディスプレイ	9
ベルトクリップの使いかた	10
電池パックの取り付け / 取り外し	11
リチウムイオン電池パックを取り付ける	11
リチウムイオン電池パックを取り外す	11
電池の消耗について	11
リチウムイオン電池パックの充電方法	12
デジタル簡易無線局について	13
チャンネル構成とコールチャンネル	13
通話モードについて	13
UC(ユーザーコード)通信のしかた	14
通信方法	15
UC(ユーザーコード)の設定方法	17
個別通信のしかた	18
呼び出し方法	19
呼び出しを受けたとき	22
通信時に動作する機能に関して	24
キャリアセンス機能	24
LEDインジケータによる通話状態の表示	24
着信ベル	24
通話中の「ピピピ」音	24
各種の便利な機能	25
スキャン機能	25
ポジションライト機能	25
秘話通信機能	26
ロータリースイッチや各種ボタンをロックする	27
緊急を知らせる(緊急アラーム機能)	27
ディスプレイの照明ランプを点灯する	28
モニター機能	28
ピープ音によるチャンネル確認	28
通信の機能設定(Call Mode)	29
トランシーバーの詳細設定(Set Mode)	34
オプションマイクの取り付け	47
オプションマイクの感度切り替え方法	47
故障かな?と思う前に	48
定格	49
オプション	50
付録	51
“●”ボタンを押したときの動作と表示	51
チャンネル構成と通話方式	52

## はじめに

本機をご使用になるには、電波法で定められている「無線局登録申請」を行い、登録状の交付を受けることが必要です。

本機をご使用になる前に、別紙「登録申請の手引き」を参考にして、必ず登録申請を行い、登録状の交付を受けてください。

### 注意

登録状の交付を受けずに本機を運用し、電波を出した場合、電波法第9章110条に定められた罰則（一年以下の懲役又は百万円以下の罰金）が適用されますので、必ず無線局登録申請を行い、登録状の交付を受けた後に運用を行ってください。

### ● ご利用にあたって

- ◎ 本機は、技術基準適合証明を取得し、ARIB規格に準拠していますので、他社のデジタル簡易無線機（種別コード「3R」）との互換性を確保しています。ARIB規格以外の機能の互換性はありません。
- ◎ 本体背面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、“分解”や“改造”を行うことは、法律で禁止されています。
- ◎ 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。
- ◎ 本説明書には、工場出荷時の標準的な設定での説明が記載されています。

### ● 免責事項

- ◎ 取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。

### ● アフターサービス

- ◎ 正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。

## 構成

◎ 本体(VXD-10) .....	1	◎ ダミーボード .....	1
◎ アンテナ .....	1	◎ ハンドストラップ .....	1
◎ ベルトクリップ .....	1	◎ 取扱説明書(本書) .....	1
◎ リチウム電池/パック(FNB-V87L) .....	1	◎ 無線局登録申請書 .....	一式
◎ 充電器(CD-53) .....	1	◎ 無線局登録申請の手引き .....	一式
◎ ACアダプター(PA-39A) .....	1	◎ 保証書 .....	1

- ・保証書に、お買い上げの販売店名とお買い上げ日が入力されていることをご確認ください。
- ・不足品がある場合には、お買い上げの販売店にお申し出ください。

## 防水性について

本機は、IEC国際規格IP57相当(防塵等級5\*<sup>1</sup>、防水等級7\*<sup>2</sup>)をクリアした防水性能を有しています。この防水性を永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

※1：粉塵の内部侵入があっても正常な動作を阻害しないこと。

※2：水深1mの水没に30分間没しても有害な影響を受けないこと。


- ◎ キーやボタンのラバー、MIC/SP端子のキャップ、電池/パック接合部分などに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。
- ◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
- ◎ 本機は完全防水ではありませんので、水中での使用はできません。


## 電波干渉について


近距離で複数のグループの人が、複数のチャンネルを使用して通話するような場合に、隣り合うチャンネル同士の電波の干渉により、通話に支障が生じることがあります。このような時は、隣り合うチャンネル(例：“CH01”と“CH02”)でのご使用を避けていただき、離れたチャンネルを設定していただくことで、干渉を軽減することができます。



## 安全上のご注意 ～必ずお読みください～


本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

 **危険** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。


 **警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


 **注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


 行ってはならない禁止事項です(例  分解禁止)。


 必ず守っていただきたい注意事項です。


## 危険


 **自動車を運転しながら使用しない**  
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。  
運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください。

 **航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る**  
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。

 **引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない**  
発火事故や落下事故などの原因になります。

 **電池が漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険**  
化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医師の診断を受けてください。

 **電源端子をはんだ付けやショートをしない**  
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。  
ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください。

 **リチウムイオン電池パックを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない**  
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。



## 警告



### 分解や改造をしない

本機は電波法に基づく無線局です。

分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。



本機は、“IP57 相当”の防塵・防浸構造になっておりますが、特に海水などがついたときは真水で洗い流し、乾いた布などで拭きとる性能や寿命を低下させる原因になります。



### 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



### 心臓ペースメーカー装着者は使用しない

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



### 当社指定以外の充電器を使用しない

火災や故障の原因になります。



### 煙が出ている、変な臭いが出るときは電源スイッチを切って、リチウムイオン電池パックを外す

火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました販売店にご相談の上、修理を依頼してください。



### 心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.

U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.



## 注意



指定以外のオプションを使用しない

ケガの原因になります。

また、本体の故障や破損の原因にもなります。



アンテナを持って、本体を振り回したり投げたりしない

本人や他人に当たり、ケガの原因になります。

また、本体の故障や破損の原因にもなります。



アンテナを折り曲げたりしない

アンテナの変形や破損の原因になります。



強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない

故障の原因になります。



リチウムイオン電池パックを、指定の充電器で充電するときの温度範囲は5℃～35℃です

これ以外の温度での使用は、故障の原因になります。



磁気カードなどをトランシーバーに近づけない

キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。



人の多い場所では使用しない

アンテナが他人に当たり、ケガの原因になります。



トランシーバーを直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない  
変形や変色等の原因になります。



シンナーやベンジンなどでケースを拭かない

変形や変色等の原因になります。

ケースが汚れた場合には、中性洗剤を湿した布で軽く拭いて汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。



小さなお子さまの手の届かない場所に保管する

ケガなどの原因になります。

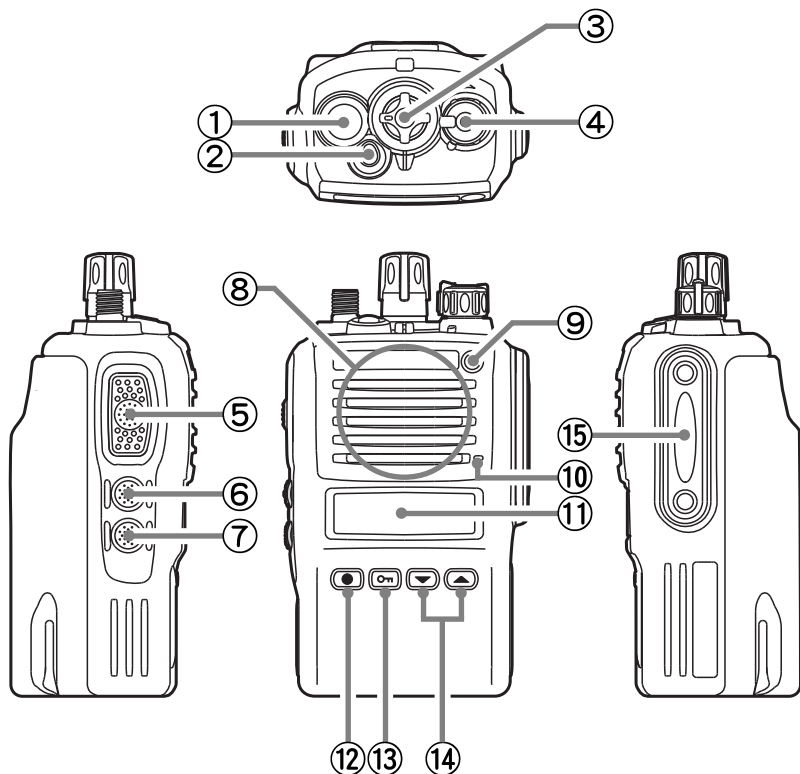
## 正しくご使用いただくために

- 本機にマイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正のオプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。  
当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、当社では一切責任を負いません。
- リチウムイオン電池/パックを充電する際は、必ず付属の充電器を使用してください。当社指定以外の充電器を使用すると、火災や故障の原因になります。
- オプションマイクロホンを取り付けた際は、コードを強く引き伸ばしたままにしないでください。  
コードの断線などにより、故障の原因になります。
- 電波法により、トランシーバーやオプション類の分解・改造、オプションリスト (P.50 ページ) 以外の装置を接続することは禁じられています。
- 周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。
- 通話する際は、マイクから約5センチ離して普通の声量で話してください。  
マイクと口元の距離が近かったり、声が大きかったりすると、音声割れたり、歪むことがあります。
- 運用が終わりましたら、バッテリーパックが消耗しないように、トランシーバーの電源を切ってください。



## 各部の名前と機能


### ■ 本体



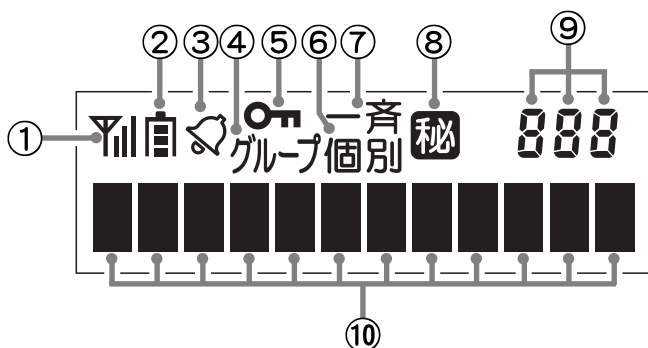
- ① アンテナコネクタ 付属のアンテナを接続します。
- ② スキャン/緊急ボタン “スキャン機能” (☞ 25ページ)が動作します※<sup>1</sup>。再度押しすと、スキャン機能が停止します。また、約3秒間押し続けると、最大音量でアラーム音を鳴らして緊急事態を知らせる “緊急アラーム機能” (☞ 27ページ)を動作させることができます※<sup>2</sup>。

※<sup>1</sup>：セットモード “F12 スキャン” の設定が必要です (☞ 43ページ)。

※<sup>2</sup>：セットモード “F05 キンキュウ” の設定が必要です (☞ 39ページ)。

- ③ ロータリースイッチ チャンネル変更や、拡張機能の項目選択時にまわします。
- ④ 電源スイッチ / 音量調節ツマミ 電源のON/OFFと音量の調節をします。
- ⑤ PTT(通話)ボタン 押すと送信状態、放すと受信状態に戻ります。
- ⑥ モニターボタン 設定したユーザーコードに関係なく、そのチャンネルでの秘話通信でないデジタル音声信号をモニターすることができます(☞ 28 ページ)。
- ⑦ ランプボタン 一度押すと約5秒間ディスプレイの照明が点灯します(照明が点灯中に再度押すと消灯します)。設定により、約3秒間押し続けることにより、“ポジションライト機能”(☞ 25 ページ)をON/OFFすることができます。
- ⑧ スピーカー ここから相手の音声や操作音が聞こえます。
- ⑨ LED インジケータ(☞ 24 ページ) 受信中は通信方式により“緑色”“水色”“青”の点滅、送信中は“赤色”または“青色”に点灯します。バッテリー消耗時は“赤色”で点滅します。また、ポジションライト機能動作時は、設定された条件で、点灯/点滅します。
- ⑩ マイクホン ここに向かって話します。
- ⑪ ディスプレイ 各種状態や情報を表示します(☞ 9 ページ)。
- ⑫ “●” ボタン 押すたびにディスプレイの表示内容が切り替わります。
- ⑬ “” ボタン 約2秒間押し続けると、誤って各種ボタンに触れても設定が変わらないようにロックすることができます(☞ 27 ページ)。
- ⑭ “▼”/“▲” ボタン 各種機能で、設定値を変更するときの“桁”を選択します。個別通信時は、呼び出す相手局の選択をおこないます。
- ⑮ MIC/SP 端子 カバーを外して、スピーカーマイクなどのオプションを接続します。

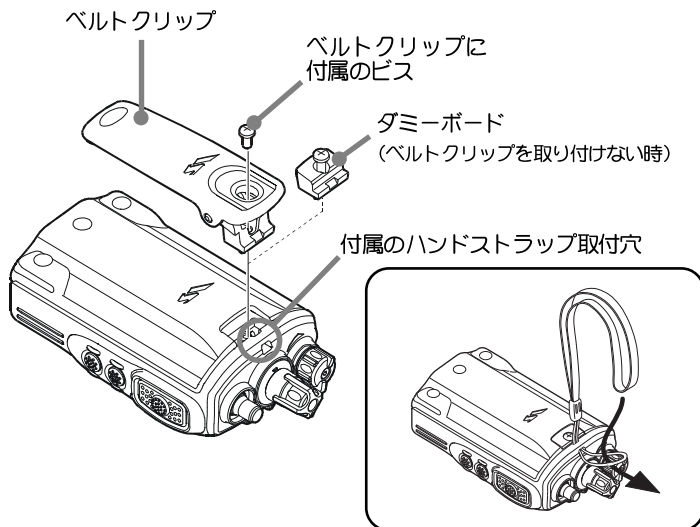
## ■ ディスプレイ



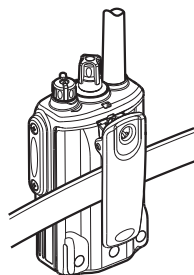
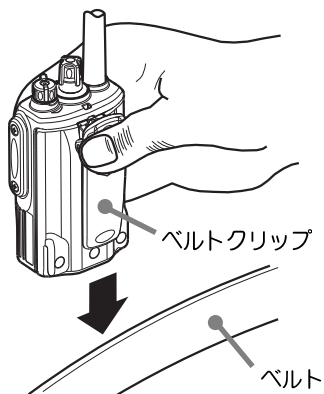
- ① 電界強度表示 / 受信時：受信している電波の強さに応じて4段階で表示  
送信出力表示 示します。  
送信時：5W出力時は“Yll”、1W出力時は“Y”が点灯します。
- ② 電池残量表示 電池残量の目安を表示します。
- ③ 個別通信表示 個別通信時に点灯します。
- ④ グループ表示 個別通信運用時のグループコール時に点灯します。
- ⑤ キーロック表示 キーロック機能が動作しているときに点灯します。
- ⑥ 個別表示 個別通信運用時の個別コール時に点灯します。
- ⑦ 一斉表示 個別通信運用時の一斉コール時に点灯します。
- ⑧ 秘話表示 秘話通信を設定しているときに点灯します。
- ⑨ チャンネル番号 / 個別通信時のチャンネル番号(01～30)、呼び出し機能番号表示  
チャンネル(ALL)、上空チャンネルモニター時のチャンネル番号(S01～S05)、スキャン表示(Scn)、および各種機能設定時には、機能番号を表示します。
- ⑩ 文字表示部 チャンネル番号(UC通信時)、呼び出し先(個別通信時)、機能などをアルファベット、数字、カタカナで表示します。

## ベルトクリップの使いかた

ベルトクリップに付属しているビスで、ベルトクリップを取り付けます。



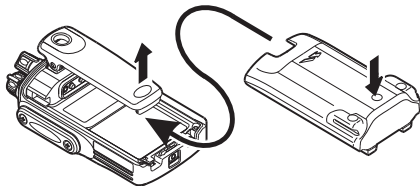
ベルトクリップの先端を指で押し、ベルトへ確実に取り付けてください。



## 電池パックの取り付け / 取り外し

### ■ リチウムイオン電池パックを取り付ける

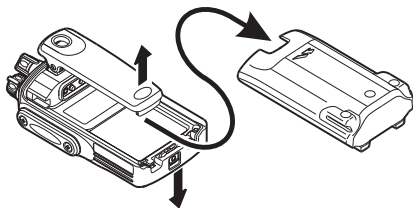
- ① ベルトクリップを取り付けている場合は矢印の方向に上げます
- ② リチウムイオン電池パックの背面を押しながらスライドし、「カチッ」と音がするまで差し込みます



- 「カチッ」と音がするまで、電池パックの背面を押しながらスライドし、確実に取り付けてください。  
確実に取り付けしていないと落下事故や故障の原因になります。

### ■ リチウムイオン電池パックを取り外す






- ① ベルトクリップを取り付けている場合は矢印の方向に上げます
- ② ロックレバーを矢印の方向に下げます
- ③ リチウムイオン電池パックを抜き取ります



- ロックを外す時は、指や爪などを傷めないよう、十分に注意してください。

## 電池の消耗について

電池が消耗すると、ディスプレイの電池マークが下記のように変化します\*。  
電池マークが点滅し、LED インジケーターが赤色に点滅した時は、直ちに充電を行ってください。

-  十分使えます
-  まだ使えます
-  残りわずかです
-  空になりました
-  すぐに充電してください

\* アルカリ乾電池使用時は、電池の特性上、消耗状態を正しく表示しないことがあります。

電池持続時間\*は

リチウムイオン電池

FNB-V87Li 約 11 時間

FNB-V86Li(オプション)約 6.5 時間

FNB-V92Li(オプション)約 16 時間

\* 電池持続時間は「送信出力 5W 時、送信 5 : 受信 5 : 待ち受け 90」の測定条件になります。  
周囲の温度により使用できる時間が異なることがあります(特に寒冷地では使用時間が短くなります)。



(株)パーテックススタンダードは、有限責任中間法人JBFCに加盟し小型充電式電池のリサイクルを実施しています。

## リチウムイオン電池パックの充電方法

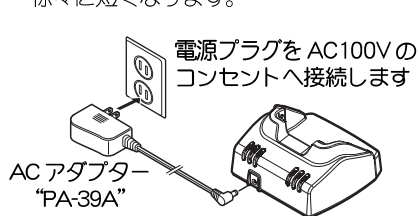
充電時間：FNB-V87LJ ➡ 約 130分

付属の充電器“CD-53”とACアダプター“PA-39A”を接続して、リチウムイオン電池パックを充電します(下図参照)。

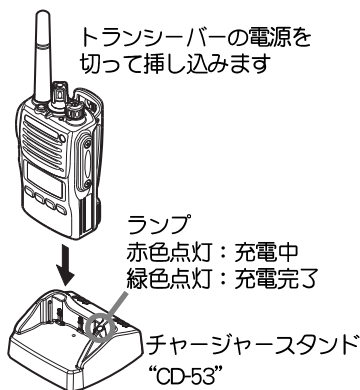
- ご購入時、または長い間使用しなかったときは、充電してからお使いください。
- 充電は、周囲の温度が“+5℃～+35℃”の場所で行ってください。

チャージャーstandsのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプは緑色に点灯します。

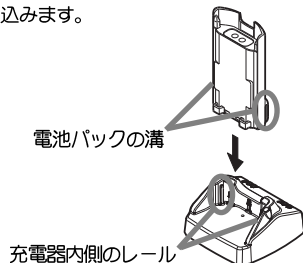
- 充電が完了した後は、ACアダプターをコンセントから外してください。
- 長時間充電したままにしておくと、リチウムイオン電池パックを劣化させることがあります。
- リチウムイオン電池パックは消耗品です。充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。



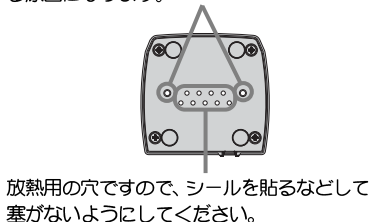
チャージャーstandsの背面にあるジャックに、ACアダプターのコネクターを挿し込みます。



リチウムイオン電池/パックを単体で充電するときは、リチウムイオン電池/パックの溝を充電器内側のレールに合わせて挿し込みます。



チャージャーstandsの底面にあるネジ穴は使用しないでください。内部の基板を破損する原因になります。



## デジタル簡易無線局について

デジタル簡易無線の登録局は、下表のように分類されています。

種別	ARIB 種別コード	周波数	チャンネル数	使用範囲
登録局	3R	351MHz 帯	30	陸上
登録局(上空利用)	3S		5	上空および陸上

本機は種別コード「3R」の“登録局”として開発されたもので、スカイスポーツ等、上空でのご利用はできません。

### ■ チャンネル構成とコールチャンネル

本機のチャンネル構成 (ARIB 無線設備の種別コード「3R」)

- “-CH01-” ~ “-CH30-” の 30 チャンネルが利用可能です。
- “Call-CH15-” は「コールチャンネル※1」に設定されています。
- 上空用チャンネル (1~5 チャンネル) をモニター※2 することができます (送信することはできません)。

※1：コールチャンネルでは、ユーザーコード(☞ 17 ページ)は自動的に“000”に設定され、秘話通信(☞ 26 ページ)は自動的に解除されますので、ARIB 規格で定めている「呼出用チャンネル」として、ご利用いただけます。

なお、コールチャンネルは一時的な呼び出しのみに使用し、継続的な通話は他のチャンネルで行うようにしてください。

また、コールチャンネルでは“●”ボタンが無効になりますので、ユーザーコードおよび、秘話通信の設定は、コールチャンネルを除く他のチャンネルでのみ有効となります。

※2：セットモード“F11 ジョウクウCH”の設定が必要です(☞ 42 ページ)。

### ■ 通話モードについて

VXD-10 では、下記の二通りの通信方式で運用することができます。

なお、工場出荷時は UC (ユーザーコード) 通信に設定されていますので、通信相手と同じ通話モードに設定してからご使用ください(☞ 30 ページ)。

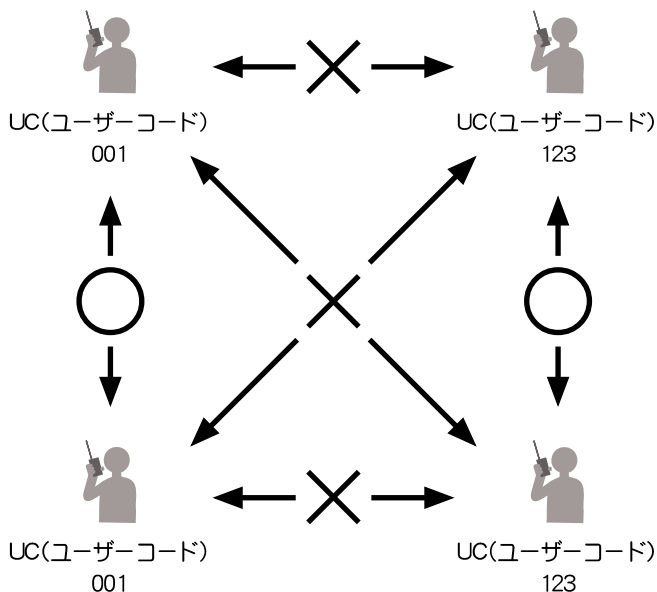
- UC (ユーザーコード) 通信(☞ 14 ページ)  
同じチャンネルで、同じ UC (ユーザーコード) を設定している者同士が通話できる通信方式。
- 個別通信(☞ 18 ページ)  
同じチャンネルで、同じ UC (ユーザーコード) を設定している特定の相手やグループだけを呼び出して通話できる方式。

## UC(ユーザーコード)通信のしかた

全員が同じチャンネル番号にあわせていても、同じUC(ユーザーコード)を設定している者同士だけが、通話することができる通信方式です。

ユーザーコードの設定方法は、17ページを参照してください。

- ユーザーコードは、3桁の数字で構成されていて、“000”～“511”の間で決めることができます。
- ユーザーコード“000”は、共通ユーザーコードとして扱われ、受信時はコードが異なる信号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手としか通信することができません。
- UC通信は、ARIB規格で規定されており、種別コード3Rの他社製デジタル簡易無線トランシーバーと通話互換があります。
- 本機のUC(ユーザーコード)は、初期値(工場出荷時)では“000”に設定されています。
- 他ユーザーとの混信を避けるため、UC(ユーザーコード)は“000”以外に設定することをお勧めいたします。



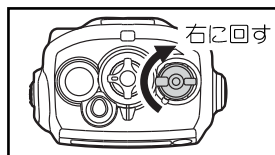


## ■ 通信方法

### ① 電源を入れます

電源スイッチを右にまわすと、電源が入ります。

- ディスプレイに“VXD-10”が約1秒間表示され「ピポッ」と電子音が鳴り、現在のチャンネル番号がディスプレイに表示されます。



チャンネル番号



### ② 音量を調節します

音量調節ツマミを12時の位置にあわせておき、その後は相手の音声が最適な音量になるよう、音量調節ツマミで調節します。

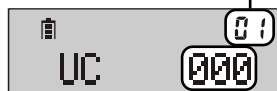


### ③ ユーザーコードを確認します

“●” ボタンを押すと、現在設定されているユーザーコードがディスプレイに表示されますので、相手局と同じコードになっているかを確認します。

- コードが異なる場合は、交信できません。必ず相手局と同じユーザーコードに設定してください(☞ 17 ページ)。

チャンネル番号



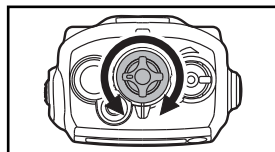
ユーザーコード

### ④ チャンネルをあわせませ

ロータリースwitchをまわして、通話したい相手と同じチャンネルにあわせませ。

- UC(ユーザーコード)通信で使用できるチャンネルは、“-CH01-”～“-CH30-”です。

なお、“Call-CH15-”は呼出し用チャンネルのため、ユーザーコードは“000”に設定され、秘話(☞ 26 ページ)は自動的に解除されませ。



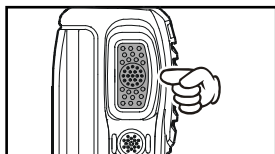
相手と同じチャンネル



## ⑤ 送信(通話)します

PTT(通話)ボタンを押しながら、マイクに向かって話します。

- 他の通信への混信を防ぐため、送信開始直前には、キャリアセンス機能(※ 24 ページ)が自動的に動作します。
- マイク口ホンと口元の間隔は、5cm 位が適当で、普通の声量で話します。
- 他の通信を受信中(LED インジケーターが緑色に点滅中)、に PTT(通話)ボタンを押すと、キャリアセンス機能(※ 24 ページ)により、「ポポ・・・ポポ・・・」という送信待ちアラームが鳴り“-Wait-”が表示されて送信待ち状態になります。
- PTT(通話)ボタンを押している間に受信している電波がなくなると、チャンネルの空きを自動的に判断し、送信状態になります。
- 送信中は、LED インジケーターが赤色に点灯し、ディスプレイに“Yll”(5W)/“Yr”(1W)が点灯します。  
※ 24 ページの“LED インジケーターによる通話状態の表示”を参照してください。



“Yll” が点灯



## ⑥ 相手の音声を受信します

PTT(通話)ボタンを離すと、相手の話を聞くことができます。

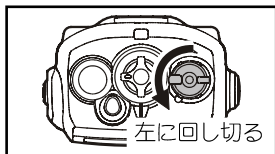
- 信号を受信すると、LED インジケーターが緑色※に点滅し、電波の強さに応じて、ディスプレイの“Yll”が点灯します(4段階)。  
※ 24 ページの“LED インジケーターによる通話状態の表示”を参照してください。

信号を受信すると点灯



## ⑦ 電源を切ります

電源スイッチを「カチッ」と音がするまで左にまわし切ると、電源が切れます。

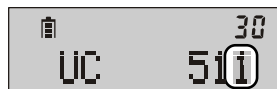
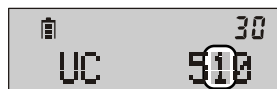
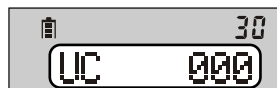


## ■ UC(ユーザーコード)の設定方法

“UC(ユーザーコード)”を“000”～“511”の間から設定することができます。

相手局と同じチャンネルにあわせていても、ユーザーコードが異なる場合は交信することができませんので、必ず相手局と同じユーザーコードに設定してください

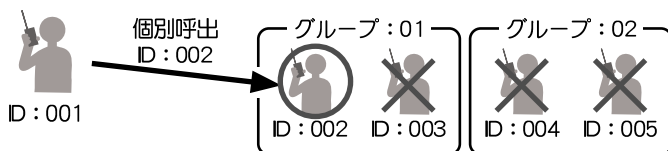
- ① “●” ボタンを何度か押して、“UC xxx”を表示させます。  
○ “xxx”の部分は、現在設定されているユーザーコードが表示されます。
- ② “▲”または“▼” ボタンを押すと、ユーザーコードの最上位桁が点滅します。
- ③ □-タリ-スイッチをまわして、希望の数値にあわせます。
- ④ “▲” ボタンを押すと右の桁が点滅します。  
○ “▲” ボタンを押すと右の桁に、“▼” ボタンを押すと左の桁に点滅位置が移動します。
- ⑤ 操作③と④を繰り返して、希望のユーザーコードを設定します。  
○ 設定できるユーザーコードは“000”～“511”です(511以上の数字にあわせることはできません)
- ⑥ “●” ボタンを押すと、ユーザーコードが設定されます。



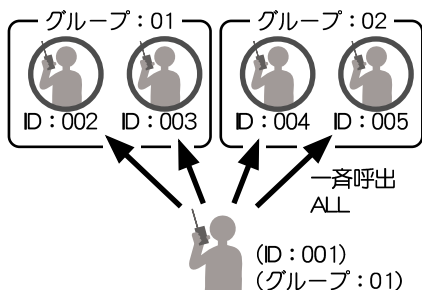
## 個別通信のしかた

全員が同じチャンネル番号とUC(ユーザーコード)に合わせていても、特定の相手だけを呼び出したり(全員を一斉に呼び出すことも可能)、特定のグループに属する全ての局を呼び出して通話することができる通信方式です。この通信方式を利用するには、各トランシーバーに個別のID番号(自局IDとグループID)を設定する必要があります。“ジキョクID”の設定方法は31ページ、“グループID”の設定方法は32ページを参照してください。

### 特定の相手だけを呼び出す



### 全員を一斉に呼び出す



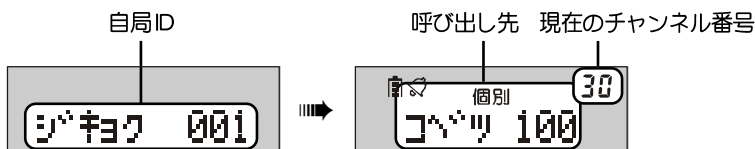
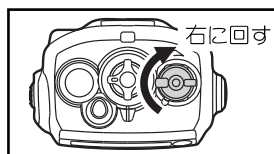
### 特定のグループに属する全員を呼び出す



## ■ 呼び出し方法

### ① 電源を入れます

電源スイッチを右にまわすと、電源が入ります。ディスプレイに“ジキョクID”が約1秒間表示され「ピポツ」と電子音が鳴り、呼び出し先が表示されます。



### ② 音量を調節します

音量調節ツマミを 12 時の位置にあわせておき、その後は相手の音声が最適な音量になるよう、音量調節ツマミで調節します。



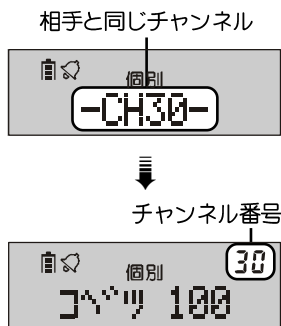
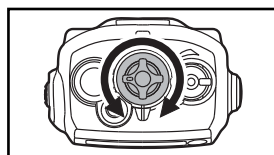
### ③ チャンネルをあわせませす

ロータリースイッチをまわして、通話したい相手と同じチャンネルにあわせませす。

○ 個別通信で利用できるチャンネルは、“CH 01.” ~ “CH 14.” および “CH 16.” ~ “CH 30.” です。

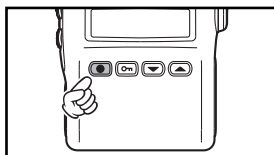
※ “Call-CH15.” は個別通信では使用できません。

○ ユーザーコードが異なる場合は、交信することができません。必ず相手局と同じユーザーコードに設定してください(☞ 17ページ)。



#### ④ 呼び出し方法を選びます

“●” ボタンを何度か押して、呼び出し方法を選びます。



特定の相手局を呼び出したいとき



特定のグループに属する、全ての局を一斉に呼び出したいとき

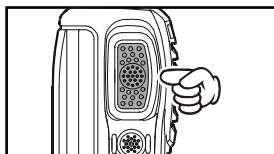
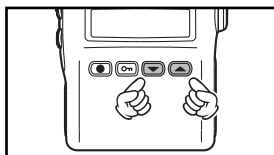
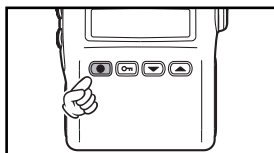


同じチャンネルにあわせている、全ての局を呼び出したいとき

#### ⑤ 呼び出し先(個別ID)を設定します

特定の相手を呼び出したい時は、呼出先(個別ID)を設定します。

1. 個別呼出画面(右図参照)で“▲”または“▼” ボタンを押すと、個別IDの最上位桁が点滅します。
2. ロータリースイッチをまわして、希望の数値にあわせませす。
3. “▲” ボタンを押すと右の桁が点滅します。
  - “▲” ボタンを押すと右の桁に、“▼” ボタンを押すと左の桁に点滅位置が移動します。
4. 操作2と3を繰り返して、希望の呼出先(個別ID)を設定します。
  - 設定できる呼出先(個別ID)は“001”～“200”です。ただし、“ジキョクID”(31ページ)と同じ数値を設定することはできません。
5. “●” ボタンを押すと、呼出先(個別ID)が設定されます。



#### ⑥ 送信(通話)します

PTT(通話) ボタンを押しながら、マイクに向かって話します。

- 他の通信への混信を防ぐため、送信開始直前には、キャリアセンス機能(☎ 24 ページ)が自動的に動作します。
- マイク口ホンと口元の間隔は、5cm位が適当で、普通の声量で話します。
- 他の通信を受信中(LED インジケータが緑または水色に点滅中)、に PTT(通話) ボタンを押すと、キャリアセンス機能(☎ 24 ページ)により、「ポポ・・・ポポ・・・」という送信禁止アラームが鳴り“-Wait-”が表示されます。この場合、LED インジケータの緑色の点滅が消えてから、再び PTT(通話) ボタンを押してください。
- PTT(通話) ボタンを押している間に受信している電波がなくなると、チャンネルの空きを自動的に判断し、送信状態になります。
- 送信中は、LED インジケータが赤色に点灯し、ディスプレイに “Yil” (5W)/ “Yi” (1W) が点灯します。



## ⑦ 相手の音声を受信します

PTT(通話) ボタンを離すと、相手の話を聞くことができます。

- 信号を受信すると、LED インジケータが水色に点滅し、電波の強さに応じて、ディスプレイの “Yil” が点灯します(4段階)。
- 相手からの応答がなく、応答待ち時間(通話タイマー 5 秒)が経過すると、自動的に待機状態に戻ります。
- 応答するタイミングは、応答待ち時間以内に行ってください。
- 個別通信では、お互いに通話が終わった時からタイマーがスタートします。

“Yil” が点灯

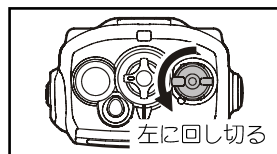


信号を受信すると点灯



## ⑧ 電源を切ります

電源スイッチを「カチッ」と音がするまで左にまわし切ると、電源が切れます。



## ■ 呼び出しを受けたとき

個別通信方式で呼び出しを受けると、ディスプレイの表示、電子音、LEDインジケータにより、呼び出しがあったことを知らせます。

これらの動作は、呼び出された方式(個別呼び出し、グループ呼び出し、一斉呼び出し)により異なりますので、下記を参照してください。

相手の送信が終わると、LEDインジケータの点滅が点灯に変わりますので、LEDインジケータが点灯している間(応答待ち時間:5秒)に、PTT(通話)ボタンを押しながら、マイクに向かって応答してください。

- 自動的に呼び出された方式(個別呼び出し、グループ呼び出し、一斉呼び出し)に切り替わり、応答することができます。
- グループ呼出または一斉呼び出しを受けても応答しない場合、応答待ち時間が経過すると、LEDインジケータが消灯し、自動的に待機状態に戻ります。

### 個別呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出してきた相手局のIDが表示され、スピーカーから電子音が一回鳴り、LEDインジケータが水色に点滅します。

- 相手のIDの点滅表示とLEDインジケータ点灯は、“●” “▲/▼” ボタンまたは、モニターボタンを押すまで続きます。
- 個別呼出しで呼ばれたときは、呼び出してきた相手局のIDが点滅表示され、LEDインジケータが水色に点灯したままになります(不在着信機能)。応答する場合は、そのまま送信ボタンを押すと個別呼出しが行われます。不在着信は最新1件が表示されます。



呼び出してきた局のID



## グループ呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出されたグループのIDが表示され、LEDインジケーターが水色に点滅します。

- 呼び出しを受けた際に、電子音を鳴らすことができます(☞ 33ページ)。



グループID

## 一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、一斉呼び出しを示す“ALL”が表示され、LEDインジケーターが水色に点滅します。

- グループ呼び出しを受けた時に電子音が鳴るように変更した場合、一斉呼び出しを受けた際も、同様に電子音が鳴ります(☞ 33ページ)。



## 通信時に動作する機能に関して

### ■ キャリアセンス機能

基準値以上の強さの電波を受信している場合は、混信を防止するために、送信を禁止する機能です。

本機は、デジタル簡易無線機登録局としてキャリアセンス機能を搭載しており、電波法およびARIB規格により、送信ごとにキャリアセンスを行います。

### ■ LEDインジケータによる通話状態の表示

本機は、動作状態を視覚的にわかりやすくお使いいただくために、三原色のLEDを使用し、動作状態を以下のように示します。

LEDの色・状態	通信(動作)状況
緑色点滅	UC 通信受信時、他局通信時
緑色点灯	モニター動作時
赤色点滅	電池パック消耗時
赤緑点滅	キャリアセンス動作時に送信ボタンを押したままの時
赤青点滅	秘話キャリアセンス動作時に送信ボタンを押したままの時
赤色点灯	UC 通信送信時、個別通信送信時
青色点滅	秘話 UC 通信受信時、秘話個別通信受信時
青色点灯	秘話 UC 通信送信時、秘話個別通信送信時
水色点滅	個別通信受信時
水色点灯	通話応答待ちの時(および不在着信時)
白色点滅	緊急アラーム動作時

### ■ 着信ベル

着信を知らせる電子音「プルル」を設定している場合、相手局の信号を受信するたびに電子音が鳴るのを避けるため、応答待ち時間を設けています。このため、送受信の後に待ち受け状態のまま約5秒が経過すると、「ポ」という電子音と同時に応答待ち時間が終了し、その後同じユーザーコードの信号を受信すると、新たに着信ベルが鳴ります。

### ■ 通話中の「ピピピ」音

本機の連続送信時間は“5分”で、約4分50秒で予告音「ピピピ」が鳴ります。

送信中に「ピピピ」という電子音が鳴った場合、速やかに通話を終了してください。

送信を継続すると約10秒後に自動的に送信が止まり、通話が中断されます。なお、自動的に送信が中断された場合、その後1分間は送信することができません。

## 各種の便利な機能

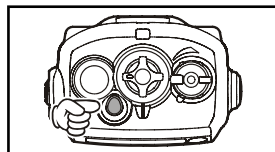
### ■ スキャン機能 ～2つのチャンネルで待ち受けする～

現在のチャンネル(通話チャンネル)と事前に設定したチャンネル(スキャンチャンネル)を交互に受信しながら、待ち受けすることができます。

※：セットモード“F12 スキャン”の設定を“ON”にしてください(☞ 43ページ)。

“スキャン/緊急”ボタンを押すと、ディスプレイに“Scn”が表示され、スキャン機能が動作します。

- スキャンしたいチャンネルを設定することができます(43ページ“F13 スキャンCH”参照)。
- スキャン動作中にPTT(通話)ボタンを押したときの、送信チャンネルを設定することができます(44ページ“F14 スキャンPTT”参照)。
- スキャン動作中に通話を行った後、約5秒後にスキャンを再開させるかどうかを設定することができます(44ページ“F15 スキャンRx”参照)。



### ■ ポジションライト機能 ～LEDインジケータを点灯/点滅させる～

ランプボタンを約3秒間押し続けると、LEDインジケータを点灯または点滅させ続けることができますので、夜間などの暗い所で無線機の所在を常時確認することができます。

※：セットモード“F16 プライト”の設定を行ってください(☞ 45ページ)。

- ポジションライト機能が動作中に、ランプボタンを約3秒間押し続けると、ポジションライト機能を停止させることができます。
- LEDインジケータの点灯/点滅および、色を変更することができます(45ページの“F16 プライト”および46ページの“F17 プライトカラー”参照)。
- ポジションライト機能は、電源を切ると自動的に“OFF”になります。
- ポジションライト機能は、送信時および信号受信時は動作しません。



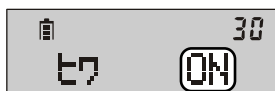
## ■ 秘話通信機能

設定した32,767通りの秘話コードが一致するトランシーバー同士のみ交信することができる機能です。

秘話機能を利用する際は、秘話コードの設定が必要です。

工場出荷時は、秘話コードが“00001”に設定されておりますが、ご使用に際し、通話セキュリティーを十分に確保するためには、下記の方法で再設定することをお勧めいたします。

- ① “●” ボタンを何度か押して、“ヒワ OFF” を表示させます。
- ② “▲” または “▼” ボタンを押した後、ロータリースイッチをまわして“ヒワ ON” にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押すと、秘話機能が動作します。  
○ ディスプレイに“秘” が点灯します。
- ④ “●” ボタンを押して、“ヒワコード XXXXX” (XXXXXは“00001”～“32767”の数字) を表示させます。
- ⑤ “▲” または “▼” ボタンを押すと、秘話コードの最上位桁が点滅します。
- ⑥ ロータリースイッチをまわして、希望の数値にあわせませす。
- ⑦ “▲” ボタンを押すと右の桁が点滅します。  
○ “▲” ボタンを押すと右の桁に、“▼” ボタンを押すと左の桁に点滅位置が移動します。
- ⑧ 操作⑥と⑦を繰り返して、希望の秘話コードを設定します。
- ⑨ “●” ボタンを押すと、秘話コードが設定されます。



## ■ ローターリースイッチや各種ボタンをロックする

誤ってロータリースイッチや、各ボタンに触れても、チャンネルなどの設定が変わらないようにすることができます。

“**on**” ボタンを2秒間押し続けると、ディスプレイに“**on**” が点灯し、ロータリースイッチや各ボタンがロックされます。

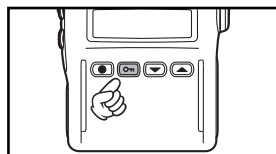
- ロックが動作中に、ロータリースイッチや、各ボタンを押すと、ディスプレイに約1秒間“-LOCK-”が表示され、ロック中であることを知らせます。

### ロックを解除するには

ロックが動作中に“**on**” ボタンを2秒間押し続けるとロックが解除されます。

- ディスプレイの“**on**”表示が消えます。

※ ロックするボタンの設定については、38ページの“F04 ロック”を参照してください。

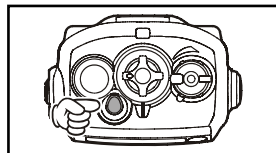


## ■ 緊急を知らせる ～緊急アラーム機能～

不慮の事故などの緊急事態を、アラーム音とLEDの点滅で周囲に知らせることができます。

“スキャン/緊急” ボタンを3秒以上押し続けると、緊急アラーム機能が動作し、最大音量でアラーム音が鳴り、同時にLEDの白色点滅で緊急事態を知らせます。

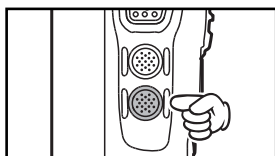
- 緊急アラーム機能の動作を停止させるには、電源を切ってください。
- 緊急アラームの設定は、初期値では“OFF”になっています。設定については、39ページの“F05 キンキュウ”を参照してください。



## ■ ディスプレイの照明ランプを点灯する

ランプボタンを押すと、ディスプレイの照明が、約5秒間点灯します。

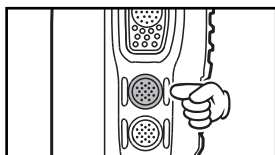
- 照明点灯中にランプボタンを押すと、照明を消すことができます。



## ■ モニター機能

モニターボタンを押している間は、異なるUC(ユーザーコード)の信号でも音声をモニターすることができます。

- 秘話通信機能が動作しているトランシーバーの音声を、モニターすることはできません。



## ■ ビープ音によるチャンネル確認

“CH01-”にあわせた時、“ポピピ”というビープ音が鳴りますので、トランシーバーを腰につけてディスプレイが確認できないような場合でも、“CH01-”を確認することができます。

## 通信の機能設定 ～ Call Mode ～

各種IDやユーザーコードなど、通信時に使用する情報や機能の設定(8項目)をおこなうことができます。

項目	初期値	設定値	機能
C01 モード	UC	UC/コベツ	UC通信と、個別通信の切り換え
C02 UCモード	ALL	CH/ALL	ユーザーコードの適用チャンネル設定
C03 UCベル	0	0/1/2/3	同一UC呼び出し電子音の回数設定
C04 ジキョクID	001	001～200	自局IDの設定
C05 グループID	01	01～30	グループIDの設定
C06 コベツベル	1	0/1/2/3/4/5	個別呼び出し電子音の回数設定
C07 グループベル	0	0/1/2/3	グループ/一斉呼び出し時の電子音の回数設定
C08 ヒフモード	ALL	CH/ALL	秘話コードの適用チャンネル設定

コールモード(Call Mode)の基本的な操作方法を下記に記します。  
各項目の具体的な操作方法は、次ページ以降を参照してください。

- ① 一度電源を切り、ランプボタンを押しながら、電源を入れます。

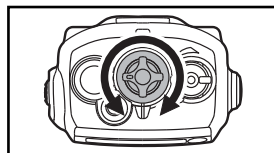


- ディスプレイに“VXD-10”または“ジキョクID”が表示された後“Call Mode”が約1秒間表示されます。

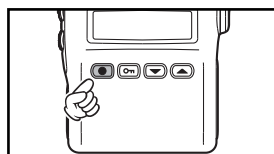
Call Mode

1秒間表示される

- ② ロータリースイッチをまわして、設定したい項目の表示にあわせます。



- ③ “●” ボタンを押します。  
④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定値を選択します。  
⑤ “●” ボタンを押します。  
⑥ 電源を切ると設定は終了です。



## ■ C01 モード

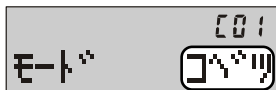
UC通信と個別通信を切り換えることができます。

- ① ランプボタンを押しながら電源を入れ、コールモード画面にします。
- ② “モード” “C01” の表示になっていることを確認します。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在の通信方式が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の通信方式を選択します。

“uc” : UC通信方式で使用します。

“コベツ” : 個別通信方式で使用します。

- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の通信方式

## ■ C02 UCモード

UC(ユーザーコード)を設定する際、チャンネルごとに設定するか、全てのチャンネルのユーザーコードを共通にするかを設定します。

- ① ランプボタンを押しながら電源を入れ、コールモード画面にします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“uc” “C02” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の設定を選択します。

“CH” :チャンネルごとにユーザーコードを設定することができます。

“ALL” :設定したユーザーコードが、全てのチャンネルに適用されます。

- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の設定





### ■ CO3 UCベル ～UC通信で使用する設定です～

UC通信で運用中、同一UCの他局から呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① ランプボタンを押しながら電源を入れ、コールモード画面にします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“UCベル”“CO3”の表示にあわせませす。
- ③ “●”ボタンを押します。
  - 電子音が鳴る回数が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の回数を選択します。
  - 設定できる回数は“0”～“3”です。
  - “0”に設定すると、呼び出し電子音は鳴らなくなります。
- ⑤ “●”ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



### ■ CO4 ジキョクID ～個別通信で使用する設定です～

トランシーバーに設定されているIDを変更することができます。

- ① ランプボタンを押しながら電源を入れ、コールモード画面にします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“ジキョクID”“CO4”の表示にあわせませす。
- ③ “●”ボタンを押すと、IDの一桁目が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の数値にあわせませす。
- ⑤ “▲”ボタンを押すと次の桁が点滅します。
  - “▲”ボタンを押すと右の桁に、“▼”ボタンを押すと左の桁に点滅位置が移動します。
- ⑥ 操作④と⑤を繰り返して、希望のIDを設定します。
  - 設定できるIDは“001”～“200”です。
- ⑦ “●”ボタンを押します。
- ⑧ 電源を切ると設定は終了です。



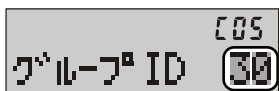
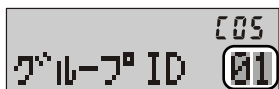
## ■ C05 グループID ～個別通信で使用する設定です～

トランシーバーに設定されているグループIDを変更することができます。

- ① ランプボタンを押しながら電源を入れ、コールモード画面にします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“グループID” “C05” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在のグループIDが点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望のIDを選択します。
  - 設定できるグループIDは“01”～“30”です。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在のグループID



## ■ C06 コベツベル ～個別通信で使用する設定です～

個別呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① ランプボタンを押しながら電源を入れ、コールモード画面にします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“コベツベル” “C06” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 電子音が鳴る回数が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の回数を選択します。
  - 設定できる回数は“0”～“5”です。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



## ■ C07 グループベル ～個別通信で使用する設定です～

グループ/一斉呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① ランプボタンを押しながら電源を入れ、コールモード画面にします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“グループベル” “C07” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 電子音が鳴る回数が点滅します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の回数を選択します。
  - 設定できる回数は“0”～“3”です。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



## ■ C08 ヒフモード

秘話通信機能の秘話コードを設定する際、チャンネルごとに設定するか、全てのチャンネルの秘話コードを共通にするかを設定します。

- ① ランプボタンを押しながら電源を入れ、コールモード画面にします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“ヒフモード” “C08” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在の設定が点滅します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定を選択します。
  - “CH”：チャンネルごとに秘話コードを設定することができます。
  - “ALL”：設定した秘話コードが、全てのチャンネルに適用されます。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



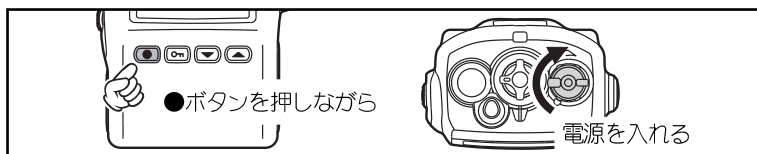
## トランシーバーの詳細設定 ~ Set Mode ~

本機に内蔵された、各機能の設定(18項目)をおこなうことができます。

項目	初期値	設定値	機能
F01 ビープレベル	12	00 ~ 15	操作音の音量設定
F02 ガイブマイク	0	+10/+6/+3/0	外部マイクのマイク感度設定
F03 ナイブマイク	+3	-3/-6/-12/-18	
F04 ロック	FRNT +TOP	PTT/FRNT/ TOP/ALL/ FRNT+TOP	ロック範囲の設定
F05 キンキュウ	OFF	ON/OFF	緊急アラーム機能の設定
F06 TXビープ	OFF	ON/OFF	送信開始時の電子音設定
F07 RXビープ	OFF	ON/OFF	相手局の送信終了音の設定
F08 スケルチレベル	04	00 ~ 12	スケルチレベルの設定
F09 TX パワー	High	High/Low/ キンシ	送信出力の設定
F10 LCDコントラスト	08	00 ~ 15	LCDのコントラスト調整
F11 ジョウクウCH	OFF	モニタ/OFF	上空用チャンネルモニターの設定
F12 スキャン	OFF	ON/OFF	スキャン機能の設定
F13 スキャンCH	Call	CH01 ~ CH30	スキャンチャンネル番号の設定
F14 スキャンPTT	ツウフ	ツウフ/スキャン	スキャン機能動作中のPTT動作設定
F15 スキャンRX	ON	ON/OFF	スキャン機能の着信後のスキャン再開設定
F16 プライト	OFF	ON/Blk-Hi/ Blk-Lo/OFF	ポジションライト機能の設定
F17 プライトカラー	ALL	ALL/BL-L/GR-L AQ-L/RD-L/PP-L YL-L/W-H/BL-H GR-H/AQ-H/RD-H PP-H/YL-H/W-H	ポジションライトの点灯色の設定
F18 セッテイリセット	—	—	全ての設定を初期値(工場出荷時)の状態に戻します。

セットモード(Set Mode)の基本的な操作方法を右ページに記します。  
各項目の具体的な操作方法は、36ページ以降を参照してください。

- ① 一度電源を切り、“●” ボタンを押しながら、電源を入れます。

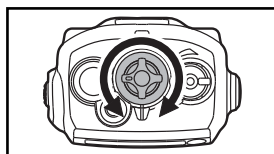


- ディスプレイに“VXD-10”が表示された後  
“Set Mode” が約 1 秒間表示されます。

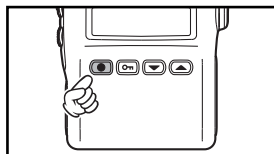
Set Mode

1 秒間表示される

- ② ロータリースイッチをまわして、設定したい項目の表示にあわせます。



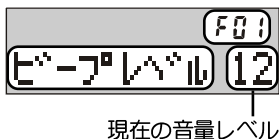
- ③ “●” ボタンを押します。  
④ ロータリースイッチをまわして、希望の設定値を選択します。  
⑤ “●” ボタンを押します。  
⑥ 電源を切ると設定は終了です。



## ■ F01 ビープレベル

ボタンやスイッチを押したときに鳴る確認音の、音量を設定することができます。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② “ビープレベル” “F01” の表示になっていることを確認します。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在の音量レベルが点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の音量を選択します。
  - 設定できる音量レベルは“00”～“15”です。
  - ビープ音を鳴らさない場合は“00”を選択してください。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。

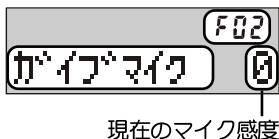


## ■ F02 ガイブマイク

外部マイクロホンのマイク感度を設定することができます。マイク感度を上げすぎると、音声が歪んだり周囲の音を拾いやすくなる場合がありますので、運用状況に応じて設定してください。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“ガイブマイク” “F02” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在のマイク感度が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の感度を選択します。
  - マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” (標準) ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



## ■ F03 ナイブマイク

トランシーバー本体に内蔵してあるマイクの、マイク感度を設定することができます。

マイク感度を上げすぎると、音声が歪んだり周囲の音を拾い了解度が悪くなる場合がありますので、運用状況に応じて設定してください。

① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“ナイブマイク” “F03” の表示にあわせませす。



現在のマイク感度

③ “●” ボタンを押します。

○ 現在のマイク感度が点滅します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望の感度を選択します。

○ マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。



(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” (標準) ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

⑤ “●” ボタンを押します。

⑥ 電源を切ると設定は終了です。

## ■ F04 ロック

ロック機能を動作させたときの、ロータリースイッチやボタンをロックさせる条件を設定することができます。

① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわして、“ロック” “F04” の表示にあわせませす。

③ “●” ボタンを押します。

○ 現在のロック範囲が点滅します。

④ ロータリースイッチをまわして、希望のロック範囲を選択します。

“FRNT+TOP” : ロータリースイッチとトランシーバー前面にあるボタンがロックされます。

“PTT” : PTT ボタンがロックされます。

“FRNT” : トランシーバー前面にあるボタンがロックされます。

“TOP” : ロータリースイッチがロックされます。

“ALL” : ロータリースイッチ、トランシーバー前面にあるボタン、PTT ボタンがロックされます。

⑤ “●” ボタンを押します。

⑥ 電源を切ると設定は終了です。

○ 本機を“受信専用機”として使用する場合は、送信操作を禁止するために“PTT”に設定してください。

○ モニターボタン、ランプボタン、スキャン/緊急ボタンはロックされません。





## ■ F05 キンキュウ

緊急アラーム機能の動作を設定することができます。

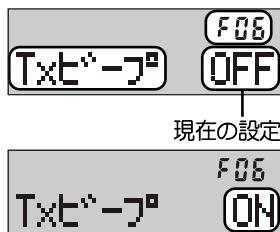
- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“キンキュウ” “F05” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。  
○ 現在の動作が点滅します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、緊急アラーム機能の ON/OFF を選択します。  
“ON” : 緊急アラーム機能が動作します。  
“OFF” : 緊急アラーム機能は動作しません。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



## ■ F06 TXビープ

送信開始時に、通話ができる状態になったことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② ロータリースイッチをまわして、“TXビープ” “F06” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。  
○ 現在の設定が点滅します。
- ④ ロータリースイッチをまわして、TXビープの ON/OFF を選択します。  
“ON” : TXビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。  
“OFF” : TXビープの動作がオフになります。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



## ■ F07 RXビープ

受信中の通話が終了したことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFFすることができます。

同じユーザーコード“000”以外の同じユーザーコードに設定してある相手局の信号を受信した時のみ動作します。

① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。

② □-タリ-スイッチをまわして、“RXビープ” “F07” の表示にあわせませす。

③ “●” ボタンを押します。

○ 現在の設定が点滅します。

④ □-タリ-スイッチをまわして、RXビープのオン/オフを選択します。

“ON” : RXビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。

“OFF” : RXビープの動作がオフになります。

⑤ “●” ボタンを押します。

⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



## ■ F08 スケルチレベル

受信信号の強弱によって受信動作を開始させるレベルを設定することができます。

① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。

② □-タリ-スイッチをまわして、“スケルチレベル” “F08” の表示にあわせませす。

③ “●” ボタンを押します。

○ 現在のスケルチレベルが点滅します。

④ □-タリ-スイッチをまわして、希望のレベルを選択します。

○ 設定できるレベルは“00”～“12”です。

⑤ “●” ボタンを押します。

⑥ 電源を切ると設定は終了です。

○ 通常は初期値の“04”でご使用ください。



現在のスケルチレベル

## ■ F09 TXパワー

送信出力(発射する電波の強さ)を“High”(5W)と“Low”(1W)または、送信を禁止する“キンジ”から選択することができます。距離の近い相手と交信するときや、電池の消耗を抑えるときには、送信出力を“Low”に、本機を受信専用機として使用する場合は“キンジ”に設定してください。

① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。

② □-タリ-スイッチをまわして、“TX パワー” “F09” の表示にあわせます。

③ “●” ボタンを押します。

○ 現在の設定が点滅します。

④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の設定を選択します。

“High” : 送信出力が 5W に設定されます。

“Low” : 送信出力が 1W に設定されます。

“キンジ” : PTT ボタンを押しても、送信しなくなります。

⑤ “●” ボタンを押します。

⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



## ■ F10 LCD コントラスト

LCD(ディスプレイ)のコントラストを調整することができます。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“LCD コントラスト” “F10” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在の設定が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望のコントラストを選択します。
  - 設定できるコントラストは“00”～“15”です。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



## ■ F11 ジョウクウCH

上空用チャンネルをモニターすることができます。なお、本機の上空用チャンネルは、モニターのみで送信することはできません。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“ジョウクウCH” “F11” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在の設定が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の設定を選択します。
  - “モニタ”：上空用チャンネルのをモニターすることができます。
  - “OFF”：上空用チャンネルモニターがオフになります。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



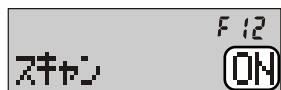
## ■ F12 スキャン

現在のチャンネルと設定したチャンネルを交互に受信し、信号が入感したチャンネルを自動的に受信することができます。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“スキャン” “F12” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在の設定が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、スキャン機能のON/OFF を選択します。
  - “ON”：スキャン機能が動作し、信号が入感したチャンネルを受信します。
  - “OFF”：スキャン機能がオフになります。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



## ■ F13 スキャンCH

現在のチャンネル(通話チャンネル)と交互に受信したいチャンネル(スキャンチャンネル)を設定します。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“スキャンCH” “F13” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在の設定が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望のチャンネルを選択します。
  - 設定できるチャンネルは“CH01”～“CH30”です。
- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



## ■ F14 スキャンPTT

スキャン機能動作時のPTT(通話)ボタン操作で送信状態になるチャンネルを設定することができます。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“スキャンPTT” “F14” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在の設定が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の動作を選択します。



現在の設定



“ツウツ” : 通話チャンネルで送信します。  
“スキャン” : スキャンチャンネルで送信します。

- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。

## ■ F15 スキャンRx

スキャン機能動作時に信号を受信した際、その後スキャンを再開させるかどうかを設定することができます。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“スキャンRx” “F15” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在の設定が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、スキャン機能再開のON/OFFを選択します。



現在の設定



“ON” : スキャン機能が再開します。  
“OFF” : スキャン機能は再開しません。

- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。

## ■ F16 Pライト(ポジションライト)

ポジションライト機能動作時のLEDインジケータの点灯条件を設定することができます。

① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。

② □-タリ-スイッチをまわして、“Pライト” “F16” の表示にあわせませう。

③ “●” ボタンを押ませう。

○ 現在の設定が点滅させう。

④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の動作を選択させう。

“ON” : 設定された色で点灯させう。

“Blk-Hi” : 設定された色で点滅させう。

“Blk-Lo” : 設定された色で“Blk-Hi” より長い間隔で点滅させう。

“OFF” : ポジションライト機能は動作させません。

⑤ “●” ボタンを押ませう。

⑥ 電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



## ■ F17 プライムカラー（ポジションライトカラー）

ポジションライト機能動作時のLEDインジケーターの色を設定することができます。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“プライムカラー” “F17” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
  - 現在の設定が点滅します。
- ④ □-タリ-スイッチをまわして、希望の色を選択します。



現在の設定



- “ALL” : 7種の色が順番に点灯します。
- “BL-L” / “BL-H” : 青色で点灯します (L : 低輝度、H : 高輝度)。
- “GR-L” / “GR-H” : 緑色で点灯します (L : 低輝度、H : 高輝度)。
- “AQ-L” / “AQ-H” : 水色で点灯します (L : 低輝度、H : 高輝度)。
- “RD-L” / “RD-H” : 赤色で点灯します (L : 低輝度、H : 高輝度)。
- “PP-L” / “PP-H” : 紫色で点灯します (L : 低輝度、H : 高輝度)。
- “YL-L” / “YL-H” : 黄色で点灯します (L : 低輝度、H : 高輝度)。
- “WH-L” / “WH-H” : 白色で点灯します (L : 低輝度、H : 高輝度)。

- ⑤ “●” ボタンを押します。
- ⑥ 電源を切ると設定は終了です。

## ■ F18 セッテイリセット

トランシーバーの設定内容を初期状態(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

- ① “●” ボタンを押しながら電源を入れ、セットモードにします。
- ② □-タリ-スイッチをまわして、“セッテイリセット” “F18” の表示にあわせませす。
- ③ “●” ボタンを押します。
- ④ “スキャン/緊急” ボタンを押すと、リセットを行います。
  - リセットを中止したいときは “●” ボタンを押してください。



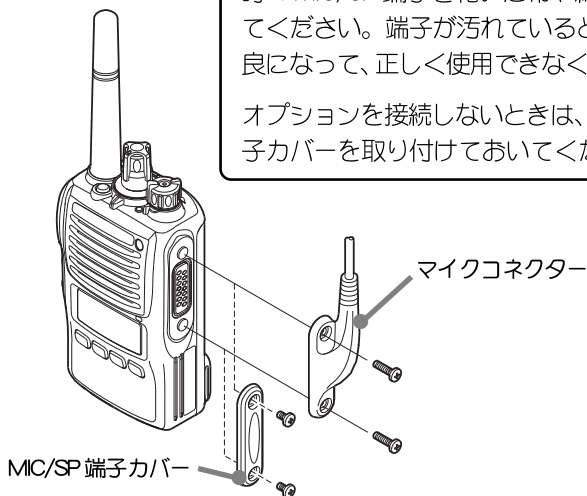


## オプションマイクの取り付け

MIC/SP 端子カバーのビスを外し、マイクコネクタに付属のビスで取り付けます。

時々 MIC/SP 端子を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接触不良になって、正しく使用できなくなります。

オプションを接続しないときは、MIC/SP 端子カバーを取り付けておいてください。



## オプションマイクの感度切り替え方法

オプションマイクを使用した際、マイクの感度が高すぎる場合は、マイクの感度を下げることができます。

- ① 一度電源を切り、“●” ボタンを押しながら電源を入れます。
- ② ロータリースイッチをまわして、ディスプレイに“ガイブマイク”“F02”を表示させて、“●” ボタンを押します。
- ③ ロータリースイッチで希望の感度を選び、“●” ボタンを押します。



○マイクの感度は、下記の8段階から選択することができます。

(低)“-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0”(標準) ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10”(高)

- ④ “●” ボタンを押します。
- ⑤ 電源を切ると設定は終了です。

## 故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？

修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

### ◎ 電源が入らない！

- ・ リチウムイオン電池/パックまたはアルカリ乾電池が消耗していませんか？
  - ➡ リチウムイオン電池/パック使用時  
リチウムイオン電池/パックを付属の充電器“CD-53”で充電してください。
  - ➡ 乾電池ケース“FBA-34”使用時  
新しいアルカリ乾電池に交換してください。
- ・ リチウムイオン電池/パックまたは、乾電池ケースFBA-34の端子が接触不良になっていませんか？
  - ➡ 端子を乾いた布で拭いてください。
- ・ リチウムイオン電池/パックが古くなっていませんか？
  - ➡ リチウムイオン電池/パックの寿命です。新しいリチウムイオン電池/パックとお取り替えください。

### ◎ 送信できない！

- ・ PTT(通話)ボタンを正しく押していますか？
- ・ 送信出力の設定が“キンジ”になっていませんか？
- ・ 上空用チャンネルになっていませんか？
  - ➡ “CH S1 ジョウクウ”～“CH S5 ジョウクウ”チャンネルは、モニターのみで送信することはできません。

### ◎ 通話できない！

- ・ 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- ・ 相手局との距離が離れすぎていませんか？
- ・ 相手局と同じ通信方式に設定していますか？
- ・ 相手局と同じユーザーコードに設定していますか？
- ・ 秘話通信機能が動作していませんか？
  - ➡ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

## 定 格

### ■ 一般

- 送 受 信 周 波 数 : デジタル簡易無線登録局(6.25kHz 間隔、30 波)  
351.2000MHz ~ 351.38125MHz  
上空用チャンネル(6.25kHz 間隔、5 波)  
351.16875MHz ~ 351.19375MHz(モニターのみ可)
- 電 波 型 式 : F1E
- 通 信 方 式 : 単信(プレストーク)方式
- 電 池 持 続 時 間 : FNB-V86LI(1150mAh) 約 6.5 時間  
FNB-V87LI(2000mAh) 約 11 時間  
FNB-V92LI(3000mAh) 約 16 時間  
(送信出力5W時、送信5、受信5、待ちうけ90の繰り返し)
- 電 源 電 圧 : DC 7.4V ± 10%
- 消 費 電 流 : DC 7.4V 送信時 約 1.8A(5W時)  
約 0.8A(1W時)  
受信待ち受け時 約 80mA  
受信定格出力時 約 350mA
- 温 湿 度 範 囲 : 温度 -20°C ~ +60°C  
湿度 95%(35°C)
- 本 体 寸 法 : 56mm × 97mm × 41mm(FNB-V87LI 使用時)
- 本 体 重 量 : 約 347g(FNB-V87LI, ベルトクリップ, アンテナ,  
MIC/SP 端子カバーを含む) ※ RoHS 指令対応

### ■ 送信部

- 空 中 線 電 力 : 5W/1W(+20%、-50%以内)
- 空中線インピーダンス : 50 Ω 不平衡
- 発 振 方 式 : 水晶発振制御による周波数シンセサイザー方式
- 周 波 数 許 容 偏 差 : ± 1.5ppm 以内
- 変 調 方 式 : 4 値 FSK
- 占有周波数帯域幅 : 5.8kHz 以下
- 最大周波数偏移 : ± 1324Hz 以内
- 隣接チャンネル漏洩電力 : -52dB 以下(5W 時)
- ス プ リ ア ス 発 射 : 2.5 μW 以下
- 不 要 輻 射 : 2.5 μW 以下
- 外部マイク標準入力レベル : -44dBm ± 5dB(600 Ω)

## ■ 受信部

受信方式：ダブルスーパーヘテロダイン方式

中間周波数：第一 50.85MHz

第二 450kHz

局部発振周波数：第一 受信周波数－50.85MHz

第二 50.4MHz

局発周波数変動：±1.5ppm以内

受信感度：-2dB $\mu$ V(BER 1 $\times$ 10<sup>-2</sup>)

スプリアスレスポンス：70dB以上

隣接チャンネル選択度：42dB以上

相互変調特性：60dB以上(±12.5kHz、±25kHz)

スケルチ感度：-10dB $\mu$ V以下

低周波出力：0.7W以上(10%歪時)

低周波出力インピーダンス：16 $\Omega$

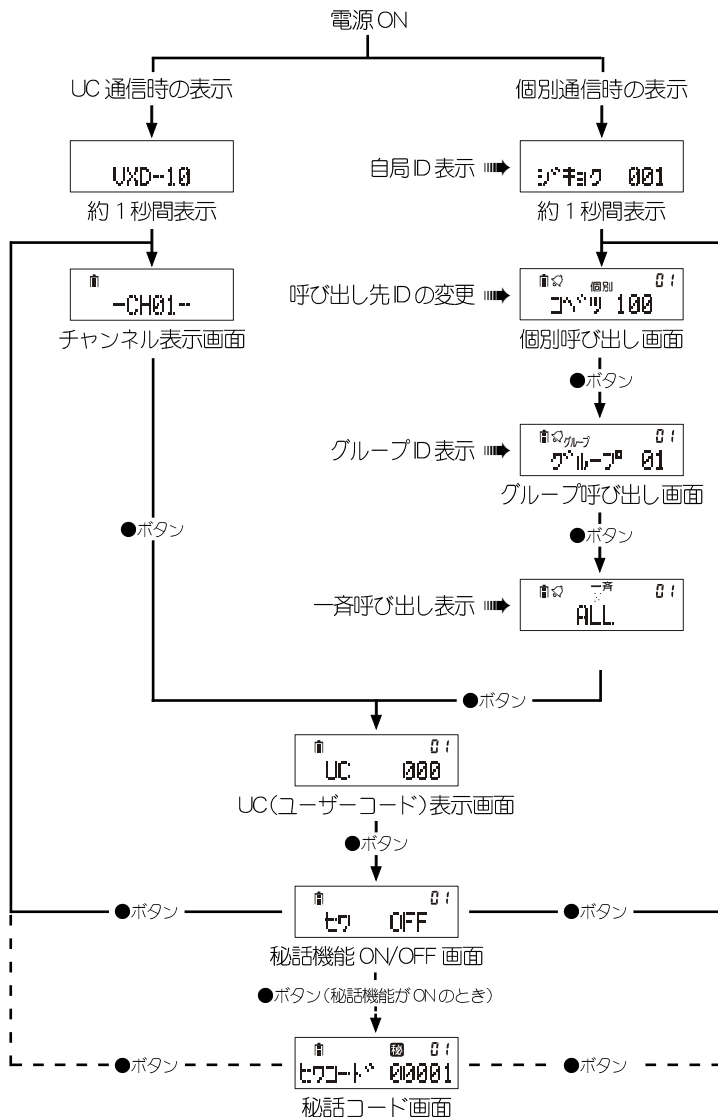
副次的に発する電波等の強度：4nW以下

## オプション

- ◎ 薄型リチウムイオン電池パック： FNB-V86LI
- ◎ 標準リチウムイオン電池パック： FNB-V87LI
- ◎ 大容量リチウムイオン電池パック： FNB-V92LI
- ◎ 防水型スピーカーマイク： MH-66A7A
- ◎ 小型スピーカーマイク： EK-404-581
- ◎ タイピン型マイク&イヤホン： EK-505W
- ◎ 小型タイピン型マイク&イヤホン： EK-313-581
- ◎ イヤホンマイク： EM-200A7A
- ◎ 咽喉マイク&イヤホン： EM-01-581
- ◎ イヤホンアダプター： EA-581
- ◎ イヤホン(EA-581用)： ME101/100CM
- ◎ 乾電池ケース： FBA-34
- ◎ キャリングケース： LCC-D591

# 付 録

## ■ “●” ボタンを押したときの動作と表示



## ■ チャンネル構成と通話方式

UC(ユーザーコード)、個別ID、グループIDを記入してお使いください。

チャンネル	UC通信	個別通信
	UC(ユーザーコード) (全チャンネル/チャンネルごと)	個別ID・グループID (全チャンネル共通)
-CH01-		
-CH02-		
-CH03-		
-CH04-		
-CH05-		
-CH06-		
-CH07-		
-CH08-		
-CH09-		
-CH10-		
-CH11-		
-CH12-		
-CH13-		
-CH14-		
Call-CH15-	ALL(各種の設定を行うことはできません)	
-CH16-		
-CH17-		
-CH18-		
-CH19-		
-CH20-		
-CH21-		
-CH22-		
-CH23-		
-CH24-		
-CH25-		
-CH26-		
-CH27-		
-CH28-		
-CH29-		
-CH30-		
CH S1 ジョウクウ	モニターのみ(送信できません)	
CH S2 ジョウクウ		
CH S3 ジョウクウ		
CH S4 ジョウクウ		
CH S5 ジョウクウ		



株式会社バーテックススタンダード  
〒153-8644 東京都目黒区中目黒 4-8-8



© 2010 株式会社バーテックススタンダード  
無断転載・複写を禁ず

1012L-0Y